

第 271 回 コミュニケーション・プラザ

日 時：令和 8 年 9 月 9 日（水）13:30～17:00

場 所：赤坂インターシティコンファレンス 4F-404（港区赤坂 1-8-1）

開催形式：オンライン併用

企 画：林野庁 林政部 木材産業課

司 会：林野庁 林政部 木材産業課 間島重道

「持続可能な社会の実現に向けた多様な木質材料の展開について」

現在、世界的に、持続可能な社会への移行が重要なテーマとなっており、特に気候変動は人類の様々な生存基盤に大きな影響があると危惧されています。建築分野は排出量全体に大きな割合を占めている中、オペレーショナルカーボンの削減を目指す省エネ化、ZEB/ZEH 化が進められてきましたが、昨今は建材の製造から建築物の解体に至るまでのエンボディドカーボンを含めたライフサイクル全体の削減へと関心が拡大しており、我が国でも建築物ライフサイクルカーボン評価制度の創設に向けた準備が進められています。

木材は製造時の排出量が比較的小さいことから、建築物への木材利用は建築物ライフサイクルカーボンの削減に効果的な手法であるとの認識が広がりつつあります。また木材は樹木が成長過程で吸収した炭素を長期間貯蔵することから、炭素貯蔵・隔離の面でも木材利用の環境価値に注目が集まりつつあります。これらの点から、国際的にも、持続可能な森林経営と木材利用はネットゼロ（カーボンニュートラル）を実現するために重要な取組と認識されるようになっていきます。

我が国においても、持続可能な社会づくりに向けて、豊富な森林資源を活用し、持続可能な森林経営と木材利用への期待が高まりつつあり、多様な木質建材において、自らの環境影響を評価・低減しつつ、非住宅分野等における木材利用を拡大する取組が展開しています。

今回のコミュニケーション・プラザでは、多様な木質部材における、持続可能な社会の実現に向けた取組を概観し、今後の建築の展望について考えていきたいと思います。

1	理事長挨拶	13:30～13:35
2	司会挨拶	
3	木材利用の環境価値の見える化と多様な木材利用の推進について 林野庁 林政部 木材産業課長 間島 重道	13:35～14:10 (35分)
4	持続可能な社会の実現に向けた、建築物等へのCLTの活用について 一般社団法人日本CLT協会 専務理事 坂部 芳平	14:10～14:55 (45分)
	～休憩～ (15分)	14:55～15:10
5	木の力を建築へ ― DLTがつなく持続可能な社会 ― 株式会社長谷川萬治商店 代表取締役 執行役員社長 長谷川 泰治	15:10～15:55 (45分)
6	サーキュラーエコノミーにおける保存処理木材の役割と可能性 日本木材防腐工業組合 理事長 越井 潤	15:55～16:40 (45分)
7	質疑応答	16:40～17:00



〒107-0052 東京都港区赤坂 1-8-1 赤坂インターシティ AIR 3F-302 TEL : 03-5575-2201



アクセス概要

地下ルート

- 東京メトロ 溜池山王駅 (14番出口当ビル直結)
○ 銀座線 ● 南北線
- 東京メトロ 国会議事堂前駅 (14番出口当ビル直結)
● 丸ノ内線 ● 千代田線

※溜池山王駅を経由するルートとなります。
※雨に濡れずにお越しいただけます。
※バリアフリー

地上ルート

- 東京メトロ 溜池山王駅 (9番出口より徒歩2分)
○ 銀座線 ● 南北線
- 東京メトロ 国会議事堂前駅 (9番出口より徒歩2分)
● 丸ノ内線 ● 千代田線

※溜池山王駅を経由するルートとなります。

※丸ノ内線から 9 番出口まで約 1km ほどあるため、赤坂見附駅で銀座線へ乗り換えるなど他路線が便利です。

第 271 回 コミュニケーション・プラザ（2026/9/9）出席票

☐ 対面ご出席

☐ Zoom ご出席

（ご出席の形式に✓印をお付けください）

対面参加に変更される場合、資料準備の都合上、必ず事前にお申し出ください

* 団体の委員として参加される場合は所属団体と委員名を必ずご明記ください

会社名：

部 署：

電話番号：

役 職：

氏 名：

Zoom 招待先メールアドレス ◆Zoom 出席の方のみご記入ください
※開催前日に招待 URL をお送りします

注）2 名以上のご参加の場合、下記にご記入下さい。

ご所属の部署・役職・ご氏名をご記入ください （団体の委員としてご参加の方は、所属団体名と委員会 名・会社名・部署・役職・氏名をご記入ください）	※対面出席の方は「対面」、Zoom 出席の方 は「メールアドレス」をご記入ください

提出期限：2026 年 9 月 1 日(火)

提出方法：会員専用ページまたはメール（cp@jaho.or.jp）